

洪水ハザードマップ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成の取組状況

機関名等	水位周知河川指定		洪水浸水想定区域指定		洪水ハザードマップ		要配慮者 避難確保計画		備考
	河川名	指定年月日	計画規模 指定年月日 ×…未指定	想定最大 指定年月日 ×…未指定	現公表年月日 ×…未作成 …対象外	水害ハザードマップの周知向上について	①対象:○○ 施設 ②作成済:○ ○施設 …対象外	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施について	
宮古市	閉伊川(千徳)	平成16年7月9日	平成18年3月24日	× (H31指定予定)	平成30年3月	広報紙への掲載や「出前講座」等で周知に努めているほか、コミュニティFM、新聞紙面等のマスコミ媒体を有効に活用しながら市民への浸透を図っているところ。	① 7施設 ② 7施設	洪水浸水想定区域内の7施設全てにおいて計画策定済み。施設管理者と協議を行いながら計画策定を進めており、その中で避難訓練の実施等についても助言、指導しているほか、市防災訓練への参加を呼び掛けている。	
	閉伊川(川井)	平成30年5月10日	× (H31指定予定)	× (H31指定予定)					
	津軽石川	平成17年6月24日	平成20年8月12日	× (H31指定予定)					
	刈屋川	(H32～33に指定予定)	×	×					
	長沢川	(H32～33に指定予定)	×	×					
	田代川	(今後指定を検討)	×	×					
大船渡市	盛川	平成17年6月24日	平成18年9月29日	× (H31指定予定)	×	洪水ハザードマップについては、現在未作成の状況であるが、大規模氾濫減災協議会の洪水浸水想定5ヶ年計画で、平成31年度に盛川の洪水想定区域が指定される予定となっていることから、その指定後にハザードマップを作成し、住民説明会などを開催し周知したいと考えている。	①13施設 ② 4施設	今年9月に岩手県が開催した要配慮者利用施設の避難確保計画策定促進に係る講習会において、各施設の担当者に説明を行ったところである。その後、各施設の担当者から個別に相談などがあり、徐々に計画書が提出されてきている状況である。未作成の施設については、今後も作成についての呼びかけを行っていきたいと考えている。	HMIはH32年度に作成予定
	浦浜川	(今後指定を検討)	×	×					
久慈市	久慈川	平成17年6月24日	平成23年3月25日	× (H32指定予定)	平成23年10月	本年6月に、ハザードマップを更新し、市内全世帯に配布を行ったところであり、自主防災組織での研修会や広報への掲載等、折に触れて周知を行っているところである。また、要配慮者利用施設に対しても、ハザードマップの配布や、避難計画策定研修会などでの周知なども併せて実施しているところである。	①38施設 ②11施設	要配慮者利用施設に対しては、年度当初に計画の雛形を送付し、策定を促したところであり、災害時の情報入手方法を掲載したチラシやハザードマップの配布、計画策定の際の個別の調整等も併せて行っているところである。また、保育所を対象とした研修会を実施し、計画策定についての講習を行ったところである。	HMIについては、水位周知河川の浸水エリアの見直しを終了し次第、改訂を行う予定としている。
	長内川	平成17年6月24日	平成23年3月25日	× (H32指定予定)					
	夏井川	平成17年6月24日	平成23年3月25日	× (H32指定予定)					
	宇部川	(H30指定予定)	×	×					
	久慈川(上流)	(今後指定を検討)	×	×					
陸前高田市	気仙川	平成17年6月24日	平成30年10月30日	平成30年10月30日	平成28年3月	ハザードマップを全戸配布、市ホームページに掲載し、防災イベントにおいてはパネル展示をすることで周知に努めた。また、ハザードマップを活用し、土砂災害・洪水避難訓練を実施した。	①22施設 ② 0施設	平成30年度中に避難確保計画の提出を求めるとして準備を進めている。避難訓練については、計画の中で定められる内容を確認する。また、市独自の説明会を2回開催した。	
	矢作川	平成17年6月24日	× (H31指定予定)	× (H31指定予定)					
釜石市	甲子川	平成17年6月24日	平成22年3月12日	× (H30指定予定)	平成25年5月	市では、平成24年度から、地域住民を主体としたワークショップ形式で懇談会を開催し、洪水、土砂災害にかかわる警戒避難体制づくりとして、洪水・土砂災害ハザードマップを町内会単位で作成し、対象世帯に配布している。市のホームページ上でも、作成したハザードマップをダウンロードできるようPDFファイルをアップしている。近年、頻発する大雨災害を受けて、各町内会から依頼される防災知識に関する市職員の出前講座の中で、洪水・土砂災害ハザードマップの周知や、安全な避難行動について周知を図っている。	①46施設 ②28施設	平成29年度には、市内の教育施設・保育施設の長等に対処とした避難確保計画の作成及び避難訓練の義務に係る説明会を開催した。平成30年8月には、岩手県主催により、市内の要配慮者利用施設の代表者に対し、避難確保計画策定促進に係る講習会を開催した。	
	鶴住居川	平成17年6月24日	平成20年6月20日	× (H30指定予定)					
住田町	気仙川	平成17年6月24日	平成30年10月30日	平成30年10月30日	平成28年2月	今後も、町のホームページ並びにケーブルテレビ及び広報誌での周知に努めていきたい。	① 2施設 ② 0施設	県の説明会等を踏まえ、現在、対象施設にて作成作業中です。	タイムライン・ホットラインの防災計画への記載はしていない
	大股川	平成28年5月10日	平成30年10月30日	平成30年10月30日					
大槌町	大槌川	平成17年6月24日	平成20年6月20日	× (H33指定予定)	平成29年8月	地区の防災学習会等において、防災マップの説明を実施。内容に修正が生じた際は広報で周知を行っている。町ホームページへの掲載のほか、広報等での定期的な周知を行い、防災マップの周知向上に向けて取り組んでいく。	① 9施設 ② 1施設	障がい者福祉施設と避難確保計画に基づいた共同訓練を実施。今年度中にもう1度実施予定。役場の役割として避難所への受入補助を実施。今後についても年2回程度の訓練を実施し、支援体制の確立、支援内容の精査を行う。	
	小籠川	平成17年6月24日	× (H33指定予定)	× (H33指定予定)					

洪水ハザードマップ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成の取組状況

機関名等	水位周知河川指定		洪水浸水想定区域指定		洪水ハザードマップ		要配慮者 避難確保計画		備考
	河川名	指定年月日	計画規模 指定年月日 ×…未指定	想定最大 指定年月日 ×…未指定	現公表年月日 ×…未作成 -…対象外	水害ハザードマップの周知向上について	①対象:○○ 施設 ②作成済:○ ○施設 -…対象外	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施について	
山田町	津軽石川	平成17年6月24日	平成20年8月12日	× (H31指定予定)	平成22年3月	浸水想定区域図を地域防災計画に記載するとともに、それをホームページに掲載し周知している。想定最大規模降雨による浸水想定区域が示された後、土砂災害警戒区域、津波浸水区域など統合した防災マップを策定し、全戸配布することとしている。	① 2施設 ② 2施設	平成30年2月に避難確保計画の策定が必要な施設を地域防災計画に記載した。県の講習会に参加した対象施設では、作成作業中であり、現在1施設が作成済みである。引き続き対象施設に対し作成を促すほか、作成の支援を行う。	
	関口川	平成17年6月24日	平成20年8月12日	× (H33指定予定)					
岩泉町	小本川	平成29年5月26日	平成30年6月15日	平成30年6月15日	×	平成30年6月に小本川の最大降雨による洪水浸水想定区域の指定を受け、全町で説明会を開催した。現在、土砂、急傾斜地、津波浸水区域のハザードマップであるが、洪水浸水区域を加えた総合的なハザードマップの策定を執り進めており、今年度末には町民へ配布する予定である。	①23施設 ②23施設	町地域防災計画で指定した対象施設は、全て計画を作成済みであり、任意で作成した指定外の施設もある。避難訓練については、最低限年1回と定め、さらには訓練計画書等の様式を定め町に対して提出を求めており、訓練実施の際は町防災担当及び担当課等職員が必ず立ち会いをしている。また、施設の近隣事業所(企業)等と災害時応援協定を締結する等の指導をしており、今年度2施設で協定を締結済みである。	洪水HMは今年度作成
	安家川	平成29年5月26日	×	×					
	小本川(穴沢)	(今後指定を検討)	×	×					
	大川	(今後指定を検討)	×	×					
田野畑村	普代川	(今後指定を検討)	×	×	—	浸水想定区域は、調査未実施のためハザードマップ作成まで至っていない。平成31年度に土砂災害危険箇所、津波ハザード、浸水害危険地区などを包括した総合防災マップを作成する予定。	—	浸水想定区域内の要配慮者利用施設はない。従って地域防災計画にも記載はない。要支援者名簿作成、要支援者の個別計画は作成済みである。平成31年度に総合防災マップを作成、全戸配布により災害種別に応じた避難方法を周知する予定である。	浸水想定区域内の要配慮者利用施設は無し。要支援者名簿、個別計画は策定済み。
普代村	普代川	平成30年11月20日	×	×	—	洪水ハザードマップの作成をしていない。	—	要支援者名簿は作成済みであり、有事の際は各地区の消防団や自主防、行政連絡員等の協力のもと、地区住民が主体となって支援を行っている。 (今後の課題) 要支援者名簿の選定を見直しが必要であると考え。	防災計画に洪水災害の避難勧告等の基準を明記している
野田村	宇部川	(H30指定予定)	×	×	—	11月現在で洪水予報河川及び水位周知河川なし。	—	該当施設無し。	
洋野町	大野川	(今後指定を検討)	×	×	—	本町には洪水予報河川及び水位周知河川が無いため未作成である。	—	該当施設無し	
	川尻川	(今後指定を検討)	×	×					